



原水禁世界大会の感動を「核兵器全面禁止のアピール」

署名につなぎさらなる上積みをも！現在の到達点 16,442筆 (9/16)

全自治体で「原爆と人間」

パネル展の開催を、

そして、引き続き署名を！

暑い夏、原爆パネル展ご苦労様でした。お陰様で、全44自治体中16の自治体で開催されました。引き続き、各団体、地域でパネル展の開催をお願いいたします。今後予定されているパネル展は

- ・水戸市(内原・友部平和の会主催) 10月22日から一週間内原中央公民館で)
- ・かすみがうら市あじさい館 10月27日から)
- ・つくば市 豊里ゆかりの森、茨商連共済会健康祭り(9月30日)

さらに県内3万筆目指し署名を国連へ届けましょう

- ・10月6日(土) 水戸駅南口署名行動(新日本婦人の会・水戸支部) 11:00
- ・10月6・9日(龍ヶ崎原水協)

など県内各地で国連軍縮特別委員へ届けます

- ・署名茨城県内署名2106筆(新婦人の分は除く)。
- ・自治体長の署名11名、副自治体長2名、議長8名、教育長5名。

地域から「草の根」で運動を高揚させましょう！

先日の日本原水協常任理事会でも引き続き原爆パネル展を全自治体で開催することが呼び掛けられています。戦後生まれが70%以上になる現在、原爆被災の実相を知らせる取り組みは重要です。特に今年の世界大会へのパンギブン国連事務局長がメッセージで「日本の核兵器廃絶の原水協を含めた運動が私のパートナーだ」と。この期待にこたえる上でも戦後生まれの若者たちに被爆の実相を知らせること、私たちの経済的な困難の根源に核抑止力に頼る軍事力の経済的な負担があること。また、立ちほだかるものは同じである原爆ゼロの運動に連帯して戦いましょう。



大震災被災地の仮設住宅に「愛と平和のちひろカレンダー」を贈ろう

東日本大震災と福島第一原発事故から1年半が過ぎ、あ、きれいな絵だわ」「部屋ようとしています。引き続きが明るくなつたね」の喜び、被災者救援・援助などの様々なたたかきと取り組みが行われています。こうし中、全国のさまざまな団体が被災地への支援活動を継続しています。

日本原水協は、「2013年版いわさきちひろカレンダー」を被災地に贈るキャンペーンにとりくんできています。

昨年、全国各地の原水協、団体・個人の募金で10000本を超えるカレンダーを贈ることができました。茨城県では隣の東電福島原発被災者に援助と連帯の意味を込めて仮設住宅に住む被災者に贈ることを呼びかけました。昨年は県内から150本を送りました。ご協力有り難うございました。

常任理事会の開催のお知らせ
10月12日(金) 15時~17時
場所 茨城平和会館会議室

内容

- 一、情勢
- 二、世界大会の成果
- 三、関東甲信越ブロック原水協学校
- 四、日本原水協第300回常任理事会報告など
- 五、パネル展を全自治体と各団体で開催しよう
- 六、秋の国連軍縮特別総会へ署名を届けましょう。
- 七、財政活動
- 八、①ちひろカレンダー
- 九、②被爆者援護募金に取組みよう
- 十、③平和行進について
- 十一、④まとめ報告(6・28~7・11)
- 十二、⑤来年の取り組みについて
- 十三、⑥2013年3・1ピキニデーの取り組みについて
- 十四、その他

※尚、当日は18時から19時30分までの毎週金曜日集会(茨城県県庁開発公社原電事務所)に参加します。

早いもので、今年の暦

も後三枚、「月日のたつのも夢のうち」ですね。私も我が家の乙姫様もくたびれていますが、なんとか追い討ちをかける消費税増税、年金改悪、電気料金の値上げなど、反国民的な立場を明らかにした「自・公・民」、ただで

災者への生活支援は、まだまだ



主催：新婦人大宮支部
おみや平和の会

7月23日から8月3日まで、土・日を除いて市役所の1階エントランスホールで実施しました。来庁した方がたくさん見てくれました。

「原爆と人間」パネル展 常陸大宮市役所エントランスホールで開催

きたいと思えます。

下に「茨城新聞8・2付」に掲載されました記事を紹介いたします。



2012. 8月2日付
茨城新聞より

大宮平和の会発行のニュース、赤旗日曜版、新婦人しんぶん、市役所近辺にチラシ配布・看板の設置などで宣伝しました。市広報掲載は間に合いませんでした。

アンケート結果(自由記入)
・大宮市は「核兵器廃絶平和都市宣言」をしています。市の平和行政について、市への要望は？

1. 核兵器だけでなく、原発にも目を向けてほしい。40女
2. 核の利用・兵器としても発電にしても拒否すべき。
3. 単に声掛けに終わらないよう確実なものにしてほしい。宣言するだけではなんの意味もない空論に。67女
4. 中学生の原水爆平和式典への参加を。60女
5. 市独自でもっと大々的に。市内の小5、6年、中1、2年生にひろしま訪問を公募し、被爆体験者の話を聞く企画をしてほしい。平和教育への予算措置を。70女
6. 有識者を招いての会合などを開いて。20代
7. とても悲しくなりました。二度とこんな悲しいことが起こらないようにしたい。
8. 一日立市・女
9. 過去の出来事と、その時間の日本に住む私たちにはとても重い現実であり、背を向けてはいけません。40女
10. 継続してください。40女
11. 小5小3の孫を連れて見に来ました。何か一つでも理解し、感じてくれれば。67女
12. 小中学生にも是非見せてほしい。市でパネルを購入して。70女
13. 東海第二原発廃炉問題もあり、いま展示が大切。60女
14. そんなうでたすけをもとめる人たちがともかなしそう。ぼくはもうせんそうがないようにとしんじています。8歳3年男
15. 何か戦争や原爆など、遠い過去のよう忘れさせて頂くと何かを。63歳

写真展の感想とご意見

関東甲信越ブロック原水協学校いこいの村酒沼

去る9月16日から17日に 発開発の歴史非常に幅広いかけて「関東甲信越ブロックお話を聞くことができました。ク原水協学校」は、茨城県た。又、福島第一原発事故で原水協学校を兼ねたものとセシウム137はヘドロのようして、いこいの村「酒沼」で開かれました。参加者は一なとところに溜まって、次第日目41名、二日目33名でした。県外からの参加者には18名、県内参加者は、26名でした。

一日目の講師は、ウラン濃縮と再処理工場から回収された、タダ同然で報センター常任理事手に入るウランが、先の湾の圓道正三さんと、岸戦争やイラク攻撃の際にも代表理事の渋谷要さんでした。圓道さんには、「核兵器と日本への原発導入問題」と題し、お話をいただきました。

圓道さんは原子力研究開発機構の核燃サイクル研(旧動燃)で再処理工場に働く人々と安全性を求めた80項目の要求を当局に迫り闘った経験から日本への大量の原発を導入することに反対しました。そのことから当局から家族も含めた攻撃を受け節を曲げずに闘ったこと。さらに原発の起り、アメリカの原



最後にオカリナ演奏で会場を盛り上げてくれた柳岡夫妻にお礼をしたいと思います。講師、参加者ともども有り難うございました。